



2023年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)

2023年2月9日

上場会社名 関西ペイント株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 高原 茂季 TEL 06-6203-5531
 経営推進部門長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	383,008	22.9	24,167	0.4	28,805	△4.8	16,788	△5.0
2022年3月期第3四半期	311,563	17.6	24,075	7.9	30,243	21.5	17,675	41.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 40,531百万円 (17.6%) 2022年3月期第3四半期 34,464百万円 (261.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	68.92	67.32
2022年3月期第3四半期	68.78	63.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	637,340	356,768	46.5
2022年3月期	600,057	375,114	53.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 296,117百万円 2022年3月期 320,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	15.00	—		
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	19.3	32,000	6.3	39,000	3.7	23,000	△13.3	95.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :無
- ④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	272,623,270株	2022年3月期	272,623,270株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	40,328,371株	2022年3月期	15,729,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	243,601,234株	2022年3月期3Q	256,979,808株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は地政学リスクの顕在化を背景とした供給制約及び原材料価格の高騰に加えて世界的なインフレの影響で多くの国で金融引き締めによる利上げが実施されており、その回復ペースが鈍化しております。そのような状況下、中国においては、感染症拡大を受けたロックダウンなどにより景気は低迷しております。米国、欧州においては利上げが景気を下押しするものの緩やかな持ち直しが継続しております。その他の地域においては、景気は回復基調もしくは持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、資源高や為替の急激な変動、株安の影響などを受けつつも、感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで持ち直しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は3,830億8百万円（前年同期比22.9%増）となりました。営業利益は、原材料価格高騰の影響が継続し、売上増に伴い販売費用が増加する中で、販売価格への価格転嫁などの利益改善に取り組んだ結果、241億67百万円（前年同期比0.4%増）となりました。経常利益は持分法投資利益が減少した影響などにより、288億5百万円（前年同期比4.8%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式縮減に伴う投資有価証券売却益の計上などにより167億88百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野では自動車生産台数が前年を上回り、売上は前年を上回りました。工業分野においては市況が低調に推移した一方で、販売価格の改善に取り組んだことなどから売上は前年を上回りました。建築分野、自動車分野（補修用）及び防食分野では、市況の本格的な回復には至らなかったものの、販売価格の改善に取り組み売上は前年を上回りました。船舶分野では、市況は回復し売上は前年を上回りました。利益は原材料価格高騰の影響を受けた一方で、為替差益の発生などにより前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,132億1百万円（前年同期9.2%増）、経常利益は111億11百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

《インド》

建築分野では需要は前年を僅かに下回りましたが、自動車分野の力強い回復により、売上は前年を上回りました。原材料価格高騰の影響は大きいものの、販売価格の改善に継続して取り組んだことから利益も前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は996億59百万円（前年同期比36.3%増）、経常利益は88億63百万円（前年同期比35.4%増）となりました。

《欧州》

トルコでは、自動車分野及び工業分野を中心に販売価格の改善に取り組み、売上は前年を上回りました。その他欧州各国においても、工業分野及び建築分野を中心に堅調な需要に支えられ売上は前年を上回り、欧州全体の売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格やエネルギーコストの高騰及びトルコにおける超インフレ会計適用の影響などにより、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は841億24百万円（前年同期比32.6%増）、経常利益は13億12百万円（前年同期比74.8%減）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産台数が前年を上回り、自動車分野での売上は前年を上回りました。工業分野では産業機械向け塗料において、主要顧客の需要が減少し、売上は前年を下回りました。これらの結果、中国全体での売上は前年を下回りました。インドネシア、タイ及びマレーシアにおいては、自動車生産台数の回復を受け、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格高騰による影響及び持分法投資利益の減少などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は503億82百万円（前年同期比21.6%増）、経常利益は55億81百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済は回復が遅れており需要が低迷する中、販売価格改善の取り組みにより南アフリカ地域の売上は伸長しました。東アフリカ地域では、建築分野における販売価格改善の取り組みにより売上は伸長し、アフリカ全体の売上は前年を上回りました。過年度より継続している不採算事業の整理による固定費削減に加

え、感染症関連保険金の受領もあったものの、為替差損の発生により利益は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は304億83百万円（前年同期比17.9%増）、経常利益は10億27百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

《その他》

北米では、自動車生産台数は前年を上回り、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格の高騰による影響などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は51億57百万円（前年同期比27.0%増）、経常利益は9億8百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、3,055億67百万円（前連結会計年度末比289億17百万円増）となりました。流動資産の増加は、主に受取手形、売掛金及び契約資産などが増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,317億72百万円（前連結会計年度末比83億65百万円増）となりました。固定資産の増加は、主に有形固定資産などが増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、2,310億42百万円（前連結会計年度末比579億59百万円増）となりました。流動負債の増加は、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などが減少したものの、短期借入金などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、495億29百万円（前連結会計年度末比23億29百万円減）となりました。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,567億68百万円（前連結会計年度末比183億46百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2022年11月10日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,677	51,910
受取手形、売掛金及び契約資産	110,085	129,930
有価証券	3,414	3,271
商品及び製品	46,317	54,816
仕掛品	7,318	8,283
原材料及び貯蔵品	35,583	45,432
その他	12,960	16,408
貸倒引当金	△3,706	△4,485
流動資産合計	276,650	305,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,484	65,633
その他（純額）	71,949	76,865
有形固定資産合計	133,434	142,499
無形固定資産		
のれん	27,573	28,142
その他	21,374	23,957
無形固定資産合計	48,948	52,099
投資その他の資産		
投資有価証券	94,192	85,736
その他	51,468	56,245
貸倒引当金	△4,636	△4,808
投資その他の資産合計	141,024	137,173
固定資産合計	323,407	331,772
資産合計	600,057	637,340

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,896	90,000
短期借入金	7,646	53,410
短期社債	-	44,999
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	60,010	-
未払法人税等	2,451	6,031
賞与引当金	4,601	3,544
その他	25,476	33,055
流動負債合計	173,083	231,042
固定負債		
退職給付に係る負債	7,486	8,348
その他	44,372	41,180
固定負債合計	51,859	49,529
負債合計	224,942	280,572
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	21,277	21,552
利益剰余金	279,551	290,236
自己株式	△26,187	△76,871
株主資本合計	300,299	260,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,070	30,776
繰延ヘッジ損益	△1,790	1,671
為替換算調整勘定	△23,071	△896
退職給付に係る調整累計額	4,512	3,989
その他の包括利益累計額合計	19,719	35,541
非支配株主持分	55,095	60,650
純資産合計	375,114	356,768
負債純資産合計	600,057	637,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	311,563	383,008
売上原価	217,146	281,004
売上総利益	94,416	102,004
販売費及び一般管理費	70,341	77,836
営業利益	24,075	24,167
営業外収益		
受取利息	335	318
受取配当金	1,540	1,639
持分法による投資利益	4,358	3,425
為替差益	694	391
雑収入	1,101	1,053
営業外収益合計	8,030	6,828
営業外費用		
支払利息	1,078	943
棚卸資産廃棄損	318	261
業務委託料	-	507
雑支出	466	479
営業外費用合計	1,863	2,190
経常利益	30,243	28,805
特別利益		
固定資産売却益	181	304
投資有価証券売却益	833	2,547
関係会社株式売却益	24	-
子会社清算益	13	-
受取保険金	953	-
特別利益合計	2,007	2,851
特別損失		
固定資産除売却損	112	105
減損損失	-	215
投資有価証券売却損	4	2
関係会社株式売却損	-	20
早期割増退職金	17	14
特別損失合計	134	358
税金等調整前四半期純利益	32,115	31,298
法人税等	9,783	11,428
四半期純利益	22,332	19,870
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,657	3,081
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,675	16,788

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	22,332	19,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,896	△7,503
繰延ヘッジ損益	873	3,465
為替換算調整勘定	4,928	19,100
退職給付に係る調整額	△220	△522
持分法適用会社に対する持分相当額	2,652	6,121
その他の包括利益合計	12,131	20,661
四半期包括利益	34,464	40,531
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,614	32,610
非支配株主に係る四半期包括利益	5,849	7,921

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式24,218,700株の取得を行いました。これを含む自己株式取得等の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が50,683百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が76,871百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	103,624	73,132	63,447	41,431	25,866	307,502	4,061	311,563	-	311,563
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	9,243	37	120	1,987	162	11,552	-	11,552	△11,552	-
計	112,868	73,169	63,568	43,419	26,029	319,054	4,061	323,115	△11,552	311,563
セグメント利益	10,265	6,548	5,212	5,962	1,067	29,056	1,187	30,243	-	30,243

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	113,201	99,659	84,124	50,382	30,483	377,851	5,157	383,008	-	383,008
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	11,139	33	164	2,712	161	14,210	-	14,210	△14,210	-
計	124,340	99,692	84,288	53,094	30,645	392,062	5,157	397,219	△14,210	383,008
セグメント利益	11,111	8,863	1,312	5,581	1,027	27,897	908	28,805	-	28,805

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等
 アジア……インドネシア、タイ、中国等
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等